

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲： ワワワいっしょに (92番)

暗唱聖句：「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」 ヨハネによる福音書 17章 3節

賛美： 我をも救いし奇しき恵み、1 & 2 節（下を参照）

おいのり（今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。）

[おはなし「ハイデルベルク信仰問答書、問 61」](#)

スパーリンク 宣教師

みなさん、こんにちは！CS の中高生科によろこおいでくださいました。私が中高生科を担当する時に、ハイデルベルク信仰問答書を学んでいます。今日もそうしたいと思います。

前は、使徒信条の解説の部分を終わった問答書の問 60 では、もう一度救いの道を確認しました。それは信仰の心をもってキリスト・イエス様により頼むことによるのでした。今度もこれを確認するとともに、私たちの信仰、あるいは依り頼む心についてとても大切なことを学びます。

ではまず、問 61 を交読しましょう。（下を参照）ここでは信仰の本質について大切な教えがあります。「イエス様を信じなさい」とか、「イエス様に依り頼みなさい」と、命令形で言われます。それで、信じると依り頼むのは、私のすることになりませんか。それはその通りです。けれども、これは基本的に、完全な受身となって、ただ「受け取ること」、「受け取って自分のものにする」と言っています。もちろん、使徒信条にあるような中身を本当のこととして認めもしますが、これも、神様が聖書で、福音書で、これを真理として教えてくださるから、外からいただくことになります。私たちが救われるのは、完全な受身となり、主イエス様の恩恵、恵みを受け入れて救われます。すなわち、イエス様の十字架の犠牲と復活の命が私のためだったことに心の目が開かれて、感謝に溢れながら、「私は信じます！」と福音の招きに答えるわけですね。でも、次のようなことを時々聞きませんか。「あなたに意思の自由がある。イエス様の福音があるけれども、このイエス様を受け入れて救われるか、拒否して救いから漏れるか、これはあなたの意志によるよ。あなたが主役だよ。」と。有名な伝道者ペリー・グラハム先生もよくそのようなことを述べていました。でも、これは聖書の教えとは違います。信じる心を自分の意思で打ち出して救いを受け入れようとする行いは私たち人間のできることはありません。霊的に死んでいる私たちにはそんなこと

ができるはずはないのです。イエス様を信じる信仰こそが私たちを再び生かしてくださる神様の恵みの賜物です。エフェソの信徒への手紙2章8-9節を読んで確認しましょう。「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。」ですから、宗教改革を起こしたマーチン・ルターも改革派神学をまとめたジャン・カルビンも、私たちの救いは神様の一方的恵みによるのだと、とても粘り強く主張しました。

確認しましょう。「信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます」と使徒パウロとバルナバはフィリピの看守さんに勧めました。看守さんはこれを受け入れて洗礼を受け、神様の救われた民に加わりました。でも、そう信じた彼らは神様から信じる力を与えられてそうされたのです。

今日もお母さんが美味しいご飯を準備してくださって、食卓を囲む私たちに、素敵な笑顔で、「さ、どうぞお召し上がりください」というときに、あなたはどうしますか。「はい、お母さん、ありがとう。いただきます。」その場合はお母さんの努力に感謝して、文字通り、完全な受身で必要な栄養が与えられますね。私たちがイエス様を信じ、「救い主となってくださったイエス様、ありがとう！いただきます。」と同じですよ。

では、感謝して、救いをいただくようではありませんか！1日の食事ではありません。永遠の命の保障です。すごいですね！

(けんきん) 今日献金をとっておいて、教会で再びお会いするときにまとめてささげましょう。

賛美： やさしい目が 1-3 節 (下を参照)

お祈り (黙祷をもって神様が救ってくださることを信じて、感謝しましょう。)

問 61 答

なぜあなたは信仰によってのみ義とされる、と言うのですか。それは、わたしが自分の信仰の価値のゆえに神に喜ばれる、

というのではなく、

ただキリストの償いと義と聖だけが

神の御前まへにおけるわたしの義なのであり、

わたしは、ただ信仰による以外に、

それを受け取ることも

自分のものにすることもできないからです。

われをもすくいし

167

Amazing grace, how sweet the sound
詞 : John Newton, 1779

AMAZING GRACE
曲 : Virginia Harmony, 1831
(編曲) Austin C. Lovelace, 1964

♩ = 96

われをもすくいし くしきめぐみま

よーいーしみもーいーまたちかーえりぬ アーメン

ピリピ 3 : 20 創世 15 : 1

- 1
われをもすくいし くしきめぐみ、
まよいし身もいま たちかえりぬ。
- 2
おそれを^{（まこと）}信仰に 変えたまいし
わが主のみめぐみ げにとうとし。
- 3
くるしみなやみも くしきめぐみ、
きょうまでまもりし 主にぞまかせん。
- 4
わが主のみちかい とわにかたし、
主こそはわが^{（まこと）}盾 わがいのちぞ。
- 5
この身はおとろえ、世を去るとき、
よろこびあふるる み国に生きん。

詞：藤沢秋子、1931-

YASASHI ME
曲：小山章三、1930-


1 やさしい目が、 きよらかな目が、
2 おおきな手が、 あたたかい手が、
3 かぎりのない ひろいところが、



きょうも わたしを みていてくださる。
▶ きょうも わたしを ささえてくださる。▶
きょうも わたしを まもってくださる。



「まっすぐに あるきなさい」と みていてくださる。
▶ 「はなれずに あるきなさい」と ささえてくださる。
「やすらかに あるきなさい」と まもってくださる。